



DTX Studio™ Lab 1.12

取扱説明書

免責事項:

この製品は、包括的なコンセプトの一部であり、ノーベルバイオケア（以下「当社」とする）の取扱説明書に従い、適合する専用の製品との組み合わせでのみ使用できます。他社製品にノーベルバイオケアの製品を組み合わせる推奨されない方法で使用した場合、ノーベルバイオケアのいかなる保証も、その他のいかなる義務も、明示／黙示を問わず無効になります。ノーベルバイオケアの製品を使用する際には、いかなる製品についても、それが特定の患者およびその状況に適合するかどうかを判断しなければなりません。

ノーベルバイオケアは、ノーベルバイオケア製品の使用において、専門的な判断または治療におけるエラーが原因となって生じるか、またはそれらに関係して生じる、直接的、間接的、懲罰的、またはその他のどのような損害の責任も明示／黙示を問わず負わないものとします。ユーザーは、この製品に関する最新の開発動向およびその適用について、定期的に学ぶ義務を負っています。ユーザーは、不明な点がある場合には、当社に連絡する必要があります。この製品の利用についてはユーザーの監督下で行われるため、ユーザーの責任になります。当社は、この製品の適用が原因で生じる損害に対して一切の責任を負いません。本取扱説明書で言及している製品のうち、国や地域によっては認可状況の関係で、一部の製品が発売されていない場合があります。ご了承ください。

Basic UDI-DI情報:

以下の表に、本取扱説明書で説明されているデバイスのBasic UDI-DI情報を記載します。

Basic UDI-DI名	Basic UDI-DIコード
デザイン・ソフトウェア	73327470000002146X



製造者:

ノーベル・バイオケア・ジャパン株式会社

〒140-0001

東京都品川区北品川4-7-35

御殿山トラストタワー13F

電話: 03-6408-4182

Fax: 03-6408-4172

www.nobelbiocare.co.jp



クラスII機器のCEマーク



取扱説明書の確認



注意

医師の指示に基づいた使用に限る。注意: 米国連邦法は、歯科医師、医療従事者、または医師の発注の上で販売されるものとして本機器を制限しています。

カナダにおけるライセンスの適用除外: 一部の製品は、カナダの法律に従ってライセンス契約されていない可能性があることに注意してください。

目次

目次	3
DTX Studio™ Labへようこそ	6
デバイスの説明	6
使用目的	6
適応	6
対象ユーザーおよび対象患者のターゲット・グループ	6
測定機能を備えたデバイス	6
禁忌	6
注意事項	7
デザインの注意事項	7
注意:	7
警告	7
スキャナーのキャリブレーション警告	7
サイバーセキュリティ	7
互換性	7
相互運用性	7
耐用年数	7
パフォーマンスの要件および制限	8
パフォーマンス特性	8
臨床的利点と望ましくない副作用	8
重大な事故に関する通知	8
施設およびトレーニング	8
取り扱い方法	8
歯科医療従事者用	8
システム要件	8
起動	9
DTX Studio™ Labの開始方法	9
設定	9
スキャン・センターの設定	9
スキャナーのキャリブレーション	9
作業領域の解説	10
DTX Studio™ Labの終了方法	10
スキャンからデザインそしてオーダーまで	11

症例	12
補綴修復症例の作成	12
模型症例の作成	12
依頼	13
接続	13
依頼からの症例の作成	13
依頼結果の共有	13
症例の管理	13
症例のソート、検索、およびフィルタリング	13
症例の経過観察	14
修復症例	14
模型症例	14
スキャン症例	14
テンプレート症例	15
テンプレシエル症例	15
ラボデザイン症例	15
スキャン・モジュール	16
スキャン・モジュールを開く	16
スキャン設定	16
スキャンの実行	16
KaVo LS 3スキャン	16
NobelProcera 2Gスキャン	17
スキャンのインポート	17
デザイン・モジュール	19
作業領域の解説	19
ナビゲーション	19
オブジェクトの表示／非表示	19
コンテキスト・メニュー	20
エキスパート／ウィザード	20
修復のデザイン	20
デザイン・ウィザードの解説	20
コンタクトと咬合の可視化	23
バーチャル・アーティキュレーター	23
仮想歯肉	23
製作用ブランク	23
模型の製作	24
模型の製作ウィザードの解説	24
バー・モジュール	25
作業領域の解説	25

ナビゲーション	25
オブジェクトの表示／非表示	25
バーのデザイン	26
ツール	27
オーダー	28
オーダーの作成	28
オーダーのソート、検索、およびフィルタリング	28
ローカルで製作するためのファイルのエクスポート	28
患者	29
付録1: ショートカット・キー	30
付録2: パラメーター・バー・モジュール	32
バーのタイプ	32
バー・パラメーター	33
ライダー付きバー	33
フリーフォーム・ミルド・バー	34
ハイブリッド・バー	35
モントリオール・バー	36
リングルカラー付きモントリオール・バー	37
パリス・バー	37
ラップアラウンド・バー	38
シリンダー・パラメーター	39
ラウンド・バー、ヘーダー・バー、およびパリス・バー	39
ドルダー・バーおよびフリーフォーム・ミルド・バー	39
モントリオール・バー	39
ラップアラウンド・バーおよびハイブリッド・バー	40
歯肉部分へ適合	41
レジンのフィニッシュライン	41
セグメント	42
フリーフォーム・ミルド・バー	42
ラップアラウンド・バー	43
ハイブリッド・バー	43
モントリオール・バー	44
リングルカラー付きモントリオール・バー	45
パリス・バー	45
アタッチメント・ポジショニング	46
既知の問題	47
全般	47

DTX Studio™ Labへようこそ

デバイスの説明

DTX Studio™ Labは、CADソフトウェアを統合して、歯科補綴修復の完全なデザインをレンダリングする情報管理のスタンドアロン・ソフトウェア・プラットフォームです。

このソフトウェアは、実際の歯の局所的な特徴を含むサーフェス・スキャン・データを受け取り、提案された情報管理ソフトウェア・プラットフォームに統合されたCADソフトウェアを使用して、歯科補綴修復物の実際のCADデザインを行います。

ソフトウェア・プラットフォームの追加機能には、症例の作成と追跡が含まれます。

生成されるコンピューター・ファイルには、デジタル形式の歯科補綴修復デザインが含まれています。

歯科補綴修復物は、出力ファイルを使用して一元的に、または現地で製作することができます。

デジタル出力には、アバットメントからインプラント・コネクションへのインターフェイスは含まれていません。

DTX Studio™ Labには、以下の機能が含まれています。

1. 基本的なアプリケーション: 基本的な機能に関する情報が含まれています (ヘルプ・フレームワーク)。
2. 症例管理: 症例と患者に関する一般情報を入力および編集します。
3. スキャン・センター: デザイン設定に必要なすべてのスキャンの取得をサポートします。
4. CADデザイン: さまざまなタイプの補綴修復の仮想デザインを行うことができます。
5. オーダー・マネジャー: デザインしたコンポーネントのオーダーとオーダーの追跡を行うことができます。
6. DTX Studio™インプラント (以前のNobelClinician®)とDTX Studio™ Clinicの統合。

使用目的

本ソフトウェアの使用目的は、患者固有の歯科用修復物のデザインをサポートすることです。

適応

DTX Studio™ Labは、上顎および下顎の無歯顎または部分欠損における咀嚼機能や審美性の補綴修復を支援することを目的としています。

本ソフトウェアは、患者別データをサーフェス・スキャナーから受信または取得するために歯科技工士が使用することを目的としています。

本ソフトウェアは、2ピース、1ピース、またはハイブリッドの歯科用インプラント・アバットメントの患者別コンポーネントのデザイン、補綴修復物のデザイン、および歯科装置のデザインに使用することを目的としています。

生成される出力ファイルには、デジタル形式の歯科補綴修復デザインが含まれており、これは3D製造システムで使用できます。また、このソフトウェアは、症例の作成、オーダー、管理にも使用できます。

対象ユーザーおよび対象患者のターゲット・グループ

DTX Studio™ Labは、歯科技工士または歯科医師が使用することを目的とし、

歯科治療を受ける必要がある患者を対象としています。

測定機能を備えたデバイス

測定値の精度は、入力オブジェクトの品質、使用されるサーフェス・スキャナー・ハードウェア、キャリブレーションおよび取得設定によって異なります。測定値の精度は、3Dオブジェクトの解析度より高くなることはありません。DTX Studio™ Labソフトウェアは、小数点の3桁下で四捨五入した値を報告します。

禁忌

DTX Studio™ Labでは特に確認されていません。

注意事項

優れた治療を行うには、外科医、補綴担当医、歯科技工士の緊密な連携が不可欠です。

スキャン中の注意

スキャン手順の実行中は、補綴修復のデザインを開始する前に、ポジション・ロケーターのアライメントを確認してください。

スキャン手順の実行中にスキャナー内のオブジェクトの位置が変わらないことを確認してください。位置がずれると、スキャン・データのずれにつながります。

デザインの注意事項

不適合な製品によって治療が遅れたり患者が負傷したりしないように、製品を正しくデザインするための指示がソフトウェアに表示されます。さらにユーザーは、製造元が提供した特定の補綴について指定されたデザインのガイドラインに従うことを推奨されます。

注意:

補綴修復をオーダーする前に、患者様／症例名および依頼された補綴修復を確認することをお勧めします。

警告

スキャナーのキャリブレーション警告

スキャンを正確に行い、不適合やデザイン不良を防ぐには、スキャナーのキャリブレーションを定期的に行うことが重要です。

NobelProcera 2Gを開始すると、スキャナーのキャリブレーションが必要な場合は警告メッセージが表示されます。

- **キャリブレーションが期限切れです:** 現在のキャリブレーションは期限が切れています。スキャンを開始する前に、フル・キャリブレーション・スキャンを実行することをお勧めします。
- **キャリブレーションが無効です:** 現在のキャリブレーションは無効です。スキャンを開始する前に、フル・キャリブレーション・スキャンを実行してください。

KaVo LS 3スキャナーのキャリブレーションが必要な場合は、通知領域に通知が表示されます。KaVo LS 3スキャン・ウィザードを開始すると、次の警告が表示されます。"現在のキャリブレーションは無効です。スキャンを開始する前に、フル・キャリブレーションを実行してください。"

サイバーセキュリティ

DTX Studio™ Labを使用するコンピューターには、ファイアウォールを正しく構成したうえで、最新かつ有効なウイルス対策ソフトウェアやマルウェア対策ソフトウェアをインストールすることを推奨します。

さらに、コンピューターを放置する場合は、必ずロックしてください。

互換性

DTX Studio™ Labは、他の医療機器と接続されていません。ソフトウェアは以前のバージョンのDTX Studio™ Labと互換性があります。

相互運用性

DTX Studio™ Labは、DTX Studio™ ClinicおよびDTX Studio™インプラントと相互運用可能です。

耐用年数

ソフトウェアの場合、耐用年数は3年です。

パフォーマンスの要件および制限

DTX Studio™ Labは使用しているオペレーティング・システムに依存します。そのため、承認されているオペレーティング・システムでのみDTX Studio™ Labを使用してください。承認されているオペレーティング・システムの詳細は、DTX Studio™ Labの「コンピューター・ガイドライン」に記載されています。

パフォーマンス特性

ビジネス・インパクトを最大限に高めるオープン・デザイン・ワークフロー。

本ソフトウェアは、メインの口腔内スキャナーとデスクトップ・スキャナーの入力用として公開されています。これにより、ユーザーは社内製作から工業製作まで行うことができます。治療プランニングから最終的な補綴修復まで、ユーザーと歯科医師を結び付けるワークフローを促進します。

臨床的利点と望ましくない副作用

DTX Studio™ Labは、歯科用インプラント・システム／歯科用クラウンまたはブリッジによる治療のコンポーネントです。治療の臨床的利点として、患者様は欠損している歯の交換やクラウンの補綴修復を期待できます。望ましくない副作用: 報告されていません。

重大な事故に関する通知

このデバイスの使用中、または使用の結果として、重大な事故が発生した場合は、製造元および各国当局に報告してください。重大な事故を報告するための、このデバイスの製造元の連絡先は以下のとおりです。

ノーベル・バイオケア・ジャパン株式会社

<https://www.nobelbiocare.com/complaint-form>

施設およびトレーニング

歯科医師は経験の有無（経験値）にかかわらず、本ソフトウェアを初めて使用する前にIFUを読むことを強く推奨します。リクエストに応じて、知識や経験のレベルに合わせて選択できるように、さまざまなコースをご用意しています。詳細については、セールス担当者またはテクニカルサポートまでお問い合わせください。

取り扱い方法

歯科医療従事者用

DTX Studio™ Labは、歯科医療従事者用としてのみ使用してください。

システム要件


本ソフトウェアのインストールを開始する前に、システム要件を確認してください。最小要件や推奨要件に関する情報を入手するには、テクニカルサポートまでお問い合わせください。ソフトウェアの新しいバージョンでは、ハードウェアまたはオペレーティング・システムによっては、より高い要件が必要になる場合があります。

ソフトウェアのインストール

ソフトウェアのインストール方法については、テクニカルサポートまでお問い合わせください。

起動

DTX Studio™ Labの開始方法



1. DTX Studio™ Labを開くには、デスクトップのショートカット・アイコン  をダブルクリックします。
2. ユーザーを選択します。
3. ユーザー固有のパスワードを入力します。
4. [サインイン]をクリックします。

パスワードを忘れた場合は、[パスワードを忘れた場合]をクリックしてDTX Studio™ Goに移動します。このログイン・ページで[パスワードを忘れた場合]をクリックします。ユーザー名を入力し、[私はロボットではありません]を選択して[パスワードをリセットする]をクリックします。あなたの電子メールアドレス宛てに、パスワードをリセットするためのリンクが送信されます。

注意: DTX Studio™ Goユーザー名とパスワードが電子メールで届かない場合は、テクニカルサポートにお問い合わせください。

設定



DTX Studio™ Labの設定を調整するには、次の手順に従います。

1. [メニュー]  をクリックします。
2. [設定]  をクリックします。
3. 設定を調整します。
DTX Studio™ Labで使用するスキャナーを設定するには、[スキャナー]をクリックしてラボ・スキャナー (KaVo LS 3またはNobelProcera 2G) を選択します。
4. [OK]をクリックします。

スキャン・センターの設定

画面下部の通知領域にあるDTX Studio™ Labアイコンを使用して、スキャナーのエラーを処理し、スキャナーのキャリブレーションを行うことができます。



スキャン・センターはDTX Studio™ Labで使用するよう設定されたスキャナーのタイプによって異なります。

-  KaVo LS 3
-  NobelProcera 2G



スキャナーを初めて使用するときは、必ずキャリブレーションを行ってください。

スキャナーのキャリブレーション

通知領域のDTX Studio™ Labアイコン ( または ) をクリックします。

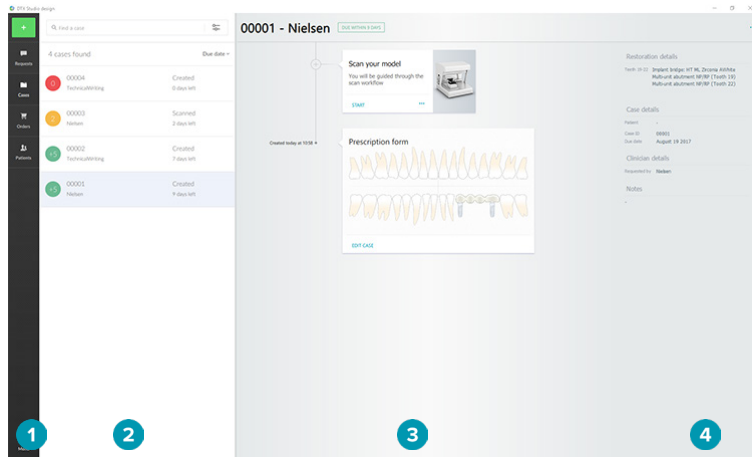
KaVo LS 3のキャリブレーション

1. [装置] タブで、スキャナー名の横にある[キャリブレーション]をクリックします。
2. キャリブレーション・オブジェクト上の番号を入力します。
3. スキャナーのホルダーにキャリブレーション・オブジェクトを配置し、[キャリブレーション]をクリックします。
4. [閉じる]をクリックします。

Optimet 2Gスキャナーのキャリブレーション



1. [スキャナーのキャリブレーション]をクリックします。
2. [チェック・キャリブレーション]または[フル・キャリブレーション]を選択します。
3. スキャナーにキャリブレーション・ボールを配置し、[開始]をクリックします。
4. [終了]をクリックします。

作業領域の解説




- 1 サイドバー
- 2 概要リスト
- 3 依頼、症例、オーダー、または患者の詳細
- 4 患者および歯科医の詳細

DTX STUDIO™ LABの終了方法

必ず、スキャン・モジュール、デザイン・モジュール、およびバー・モジュールを終了してください。Windowsタスクバーで、スキャン・モジュールのアイコン  またはデザインまたはバー・モジュールのアイコン  をクリックして対応するモジュールに移動し、右上隅の×をクリックします。

DTX Studio™ Labを終了するには、次の手順に従います。

1. [メニュー]  をクリックします。
2. [終了] をクリックします。

スキャンからデザインそしてオーダーまで


デザインを作成するには、次の手順に従います。

- 1 症例を作成します (12ページを参照)。
- 2 必要なスキャンを実行するか、またはインポートします (16ページを参照)。
- 3 補綴修復物をデザインし (19ページを参照)、模型を作成する (24ページを参照) か、またはバーをデザインします (25ページを参照)。
- 4 製品をオーダーします (28ページを参照)。

症例

サイドバーの[症例]  をクリックし、DTX Studio™ Labにある症例の概要を表示します。

補綴修復症例の作成

1. 左上隅の  をクリックし、[補綴修復物のデザイン]を選択します。
2. 症例情報を入力します。[次へ]をクリックします。
3. 単独歯をクリックして選択するか、歯式チャートで複数の歯を囲むようにドラッグして選択します。
4. 補綴修復タイプを選択します。

注意: 使用可能な補綴修復タイプは、お住まいの国で販売されている製品と、搭載しているソフトウェアのバージョンによって異なります。ラボ内で製作する補綴修復物を表示するには、製作機器を登録する必要があります。登録は、DTX Studio™ Goで行うことができます。

5. 必要に応じて、製作方法を選択します。[ノーベルバイオケアによる製作]、または登録されている製作機器のいずれかを選択します。


注意: インハウス・ミリングの対象製品の場合、機器およびマテリアルの製造元が提供している取扱説明書に従い、製品のパラメータや手順に準拠するのはユーザーの責任になります。

ノーベルバイオケアでは、現地で製作された機器の精度と性能を検証することを強く推奨します。

6. その他のパラメーターを選択し、[終了]をクリックします。
7. 複数の歯補綴修復を行う場合は、補綴修復物を配置する歯または歯の番号をクリックします。修復物のタイプとそのパラメーターを選択します。[終了]をクリックします。同じ方法で、他の修復物を配置します。
8. [終了]をクリックします。

注意: 症例は、DTX Studio™インプラントのリクエストから作成することもできます。

模型症例の作成


1. 左上隅の  をクリックし、[スキャンから模型を製作]を選択します。
2. 症例情報を入力します。[終了]をクリックします。
3. ファイルを追加する:
 - .stlファイルまたは.plyファイルをドロップ・ゾーンにドラッグ・アンド・ドロップします。または、[参照]をクリックし、ファイルに移動して、[開く]をクリックします。
 - 既存の患者の以前のスキャンまたはデザインを再利用するには、[患者データを再利用]をクリックします。スキャンまたはデザインを選択します。[追加]をクリックします。
4. [次へ]をクリックします。
5. スキャンする歯の範囲とスキャンおよびスキャナーの種類を選択します。[終了]をクリックします。
6. 画面右上の操作アイコンを使用して、スキャンの方向を修正します。
7. [終了]をクリックします。


依頼

- クラウド・サービスを通じて、DTX Studio™インプラントのユーザーから症例のスキャン、テンプレートの作成、ラボデザインの作成、またはテンプレートのデザインおよび計算を依頼される場合があります。
- DTX Studio™ Clinicユーザーが、補綴修復オーダー（口腔内スキャンやその他の画像など）を送信してることができます。
- あるいは、DTX Studio™ Goを通じて、補綴修復物のデザインを依頼される場合もあります。これらの依頼は、DTX Studio™インプラント、DTX Studio™ ClinicまたはDTX Studio™ GoおよびDTX Studio™ Labの接続が確立されている場合に受信できます。

接続




接続を確立するには、次の手順に従います。

1. [メニュー]  をクリックします。
2. [接続] をクリックします。
3. [接続先の追加] をクリックします。
4. 接続先の個人または施設のDTX IDを入力します。
5. [接続先の追加] をクリックして確定します。招待状付きの電子メールがこの接続先宛てに送信されます。
6. [閉じる] をクリックします。

この接続先が招待状を承認すると、接続先のステータスが [招待状を送信済み] から [承認済み] に変わります。受信した依頼が、[依頼]  リストに表示されます。


DTX Studio™インプラントからDTX Studio™ Labに送信された新しい接続依頼のステータスは、[依頼済み] になっています。[承認] をクリックして接続を確定します。

依頼からの症例の作成

左側のサイドバーで、[依頼]  をクリックして依頼リストを開きます。新しい依頼がある場合は、[依頼] タブに赤いドット  が表示され、簡単に識別することができます。リストを手動で更新するには、更新ボタン  をクリックします。まだ承諾していない依頼は太字で表示されます。

依頼から症例を作成するには、次の手順に従います。

1. [依頼] リストから依頼を選択します。
2. [リクエストの開始] をクリックします。
3. 症例が作成されます。患者記録が存在する場合は、[新規患者の作成] を選択して症例を新しい記録に保存するか、[患者の関連付け] をクリックして症例を既存の記録に追加します。

注意: DTX Studio™ GoまたはDTX Studio™ Clinicを通じて依頼が送信されない場合は、 をクリックして患者を作成し、[補綴修復物の作成]、[インポート] の順に選択して、スキャン・データを選択されたフォルダーからインポートします。

依頼結果の共有

依頼されたスキャンや計算したテンプレートのデザインを共有するには、次の手順に従います。

1. [スキャン結果] カードの [スキャンの共有] をクリックするか、[デザイン] または [テンプレートを製作] カードの [共有] をクリックします。
2. [送信先] フィールドに、症例を依頼した接続先が表示されます。
3. [共有] をクリックします。症例が接続先に送信されます。


症例の管理

- 症例を編集するには、[プレスクリプション・フォーム] カードで、[症例の編集] をクリックします。
- 症例を削除するには、[症例] リストで対象の症例を右クリックし、[削除] を選択します。

症例のソート、検索、およびフィルタリング


症例を検索するには、症例リストをソートまたはフィルタリングするか、検索機能を使用します。

症例をソートするには、次の手順に従います。



1. [症例]リストで、下向き矢印  をクリックします。
2. 次のいずれかを選択します。
 - [期日]
 - 患者名
 - 歯科医名
 - ステータス
 - 作成日
 - 最終変更日

3. [昇順]または[降順]を選択します。

症例をフィルタリングするには、次の手順に従います。

1. [症例]リストで  をクリックします。
2. [すべての症例]、[進行中の症例]、または[完了した症例]を選択します。

症例を検索するには、次の手順に従います。

-  [症例の検索] ボックスに、検索する患者名、患者ID、または歯科医名(一部でも可)を入力します。
- 検索結果をクリアするには、 をクリックします。

症例の経過観察

症例の概要リストの右側にある治療ラインでは、選択した症例の経過を追うことができます。治療ラインの手順に従ってください。最後に実行したステップが、常に一番上に表示されます。

修復症例

補綴修復症例の手順は次のとおりです。

1. **プレスクリプション・フォーム**: 最初のカードに、歯式チャートが表示されます。
2. **模型をスキャンするかインポートする**: [開始]または[スキャン]をクリックしてスキャン・モジュールを起動します。

備考:

- 補綴修復症例が補綴修復依頼に基づくものであり、スキャンデータとともに送信されてきた場合は、[スキャンの指定]をクリックして、アップロードされるスキャンをスキャン・オブジェクトのタイプにリンクさせます。
 - LS3スキャナーのみの場合: 治療計画に両顎の補綴修復が含まれている場合は、開始する顎を選択します。[模型のスキャン]カードで[対合顎の症例を追加]をクリックします。もう片方の顎をスキャンします。
3. **模型のスキャン**: カードにスキャン結果が表示されます。
 4. **症例をデザインする**: [開始]または[スキャン]をクリックしてデザイン・モジュールを開きます。模型を作成するには、[模型の製作]をクリックします。
 5. **症例のデザイン**: カードに症例のデザインが表示されます。
 6. **オーダーする**: [開始]をクリックしてオーダー・ウィザードを開きます。
 7. **オーダーの受領**: カードにオーダーの受領が表示されます。


模型症例

模型症例の手順またはカードは次のとおりです。

1. **設定のインポート**: 最初のカードには、インポートされたスキャンの設定が表示されます。
2. **結果のインポート**: [模型の製作]をクリックして模型のデザインを開始します。
3. **オーダーする**: [開始]をクリックしてオーダー・ウィザードを開きます。
4. **オーダーの受領**: カードにオーダーの受領が表示されます。

スキャン症例



スキャン症例の手順は次のとおりです。

1. **スキャン・リクエスト**: リクエストに基づいて新しい症例を作成するには、[リクエスト]リスト  からリクエストを選択し、[リクエストの開始]を選択します。

2. **スキャン設定:** 既存のスキャン症例の場合は、スキャン設定のカードが表示されます。
3. **模型をスキャンするかインポートする:** [開始] をクリックしてスキャン・モジュールを開きます。
4. **スキャン結果:** 最後のカードにスキャン結果が表示されます。[模型の製作] をクリックして模型を作成します。[スキャンの共有] をクリックして、依頼の送信元の歯科医とスキャンを共有します。

テンプレート症例

テンプレート症例の手順は次のとおりです。



1. **テンプレート・リクエスト** ([リクエスト] リスト): リクエストに基づいて新しい症例を作成するには、[リクエスト] リスト  からリクエストを選択し、[リクエストの開始] を選択します。
2. **テンプレート・リクエスト** ([症例] リスト): 既存のテンプレート症例の場合は、[症例] リスト  にテンプレート・リクエストのカードが表示されます。
3. **デザイン:** [製作] をクリックして、製作用の.stlファイルをエクスポートし、エクスポート先のフォルダを選択します。

備考

- テンプレート作成者の責任の下に、使用するシステムに基づき、ガイドッド・サージェリーに適したサージカルテンプレートを確実に製作できるようにしてください。ノーベルバイオケアでは、使用前にサージカルテンプレートの精度と性能を検証することを強く推奨します。
- 米国とその他の国々では、歯科用骨内インプラント埋入のサージカルテンプレートは医療機器として扱われます。これらのサージカルテンプレートの製作に関する規制状況および要件の詳細については、該当地域の規制機関にお問い合わせください。


テンプレシェル症例

テンプレシェルまたは即時プロビジョナル・レストレーションにより、埋入したインプラントにテンポラリー・クラウンまたはテンポラリー・ブリッジを装着するための来院が不要になります。テンプレシェル症例の場合の手順またはカードは次のとおりです。

1. **テンプレシェルリクエスト:** リクエストに基づいて新しい症例を作成するには、[リクエスト] リスト  からリクエストを選択し、[リクエストの開始] を選択します。
注意: テンプレシェル症例のインポートは、 をクリックし、[症例のインポート] を選択して行うこともできます。
2. **プレスクリプション・フォーム:** 既存のテンプレシェル症例の場合は、カードに歯式チャートが表示されます。
3. **症例をデザインする:** [開始] をクリックしてデザイン・モジュールを開きます。
4. **症例のデザイン:** デザイン済みの症例の場合、カードに症例のデザインが表示されます。
5. **デザインの完了:** [開始] をクリックしてデザインを完了します。
6. **テンプレシェルを計算しています:** 高解像度のテンプレシェルを計算しています。
7. **計算済みテンプレシェル:** 最後のカードに、計算済みテンプレシェルが表示されます。[作成] をクリックして高解像度のテンプレシェル製作ファイルをエクスポートします。[共有] をクリックして、計算済みテンプレシェルを、依頼元の歯科医と共有します。

ラボデザイン症例

ラボデザイン症例の場合の手順またはカードは次のとおりです。

1. **ラボデザインの依頼:** リクエストに基づいて新しい症例を作成するには、[リクエスト] リスト  からリクエストを選択し、[リクエストの開始] を選択します。
2. **プレスクリプション・フォーム:** 既存のラボデザイン症例の場合は、カードに歯式チャートが表示されます。
3. **症例をデザインする:** [開始] をクリックしてデザイン・モジュールを開きます。
4. **症例のデザイン:** デザイン済みの症例の場合、カードに症例のデザインが表示されます。
5. **LabDesignの共有:** 依頼者とラボデザインを共有するには、[共有] をクリックします。
6. **オーダーする** (オプション): [開始] をクリックしてオーダー・ウィザードを開きます。

スキャン・モジュール

選択したデザイン設定のスキャンを取得します。

精度の高いスキャン結果を出すために、スキャナーは定期的にメンテナンスしてください。キャリブレーション・スキャンは、ノーベルプロセラ スキャナー LS 3では60日ごとに、NobelProcera 2Gスキャナーでは毎月行う必要があります(9ページを参照)。KaVo LS 3を新しいコンピュータで初めて使用するときは、必ずキャリブレーションを行ってください。

スキャン・モジュールを開く

1. 選択した患者の治療ラインで、[**模型をスキャンするかインポートする**]カードの[**開始**]をクリックします。
2. 両顎の補綴修復が必要な場合は、最初にスキャンする顎を選択します。
3. DTX Studio™ Labで使用するよう設定されたスキャナーのタイプ(9ページを参照)に応じて、KaVo LS 3スキャン・モジュールまたはNobelProcera 2Gスキャン・ウィザードが開きます。

スキャン設定

スキャン設定を開くには、次の手順に従います。




- KaVo LS 3スキャン・モジュールのスキャン・パネルで[**設定の編集**]をクリックします。[**模型の高さは**]ドロップダウン・リストから値を選択して、すべてのスキャン・オブジェクトの高さを選択します。
 - NobelProcera 2Gスキャン・ウィザードでは、スキャン設定は最初のページに表示されます。
1. スキャン設定の歯式チャートに、必要なスキャンがリストされます。この情報は、症例の設定から取得されます。必要に応じて、スキャンにアイテムを追加します。
 - 歯、歯の番号または領域をクリック、またはクリックおよびドラッグして、対象の部位を選択します。
 - スキャン・アイテムを選択します。
 - [**マテリアル**]を選択します。
 - [**終了**]をクリックします。
 2. [**終了**]をクリックしてスキャン設定を終了します。

スキャンの実行



注意: スキャン手順の実行中にスキャナー内のオブジェクトの位置が変わらないことを確認してください。位置がずれると、スキャン・データのずれにつながります。

KaVo LS 3スキャン

1. スキャンするアイテムを慎重にスキャナーに配置します。
2. スキャン・パネルでアイテムを選択し、[**スキャン**]をクリックします。
あるいは、次のようにKaVo LS 3のタッチ・パネルを使用します。スキャン・オブジェクト・タイプをタッチしてから、[**スキャン**]をタッチします。
3. スキャン済み模型を3Dデータで確認します。必要であれば、アイテムを再選択し、[**スキャン**]をクリックして、アイテムを再スキャンします。
 - 穴を埋めるには、[**再スキャン・ゾーン**]をクリックします。
 - ロケーターを使用して顎をスキャンした場合は、[**ロケーターの指定**]  をクリックして、各ロケーターとそのインプラントを特定します。ロケーターの位置付けが終わったら、模型内のロケーターのアライメント・マッチングを確認します。
 - [**アライメントの確認**]  をクリックして、スキャンと歯科模型のアライメントを確認します。
 - スキャン・データを削除するには、ツール・バーの[**表面のトリミング**]  をクリックします。

注意: 部位やロケータの位置の特定が必要な症例では、スキャン・パネルにそれらのタスクが表示されます。これらのタスクは、常にツール・メニューから使用できます。

4. すべてのスキャン・タスクの実行が終了したら、**[保存して閉じる]**をクリックします。

NobelProcera 2Gスキャン

- ロケータ（ある場合）を確実にマウントし、スキャナーに主模型または支台歯を慎重に配置します。ロケータを連続スキャンするには、次の手順に従います。
 - このフェーズでスキャンするロケータを、**[ロケータ]**リストで選択します。
 - カメラ・ビューでロケータ領域の位置を微調整します。**[次へ]**をクリックします。
 - スキャンされたロケータの位置を確認します。
 - 模型がモデル・ホルダーからはずれないように、ロケータを慎重に外します。
 - すべてのロケータがスキャンされたら、**[次へ]**をクリックして続行します。
- 主模型および支台歯のスキャン領域（ある場合）の自動推奨がカメラ・ビューで表示されます。スキャン・ポジションの微調整を行い、スキャン領域を調整します。**[次へ]**をクリックして続行します。
- スキャンされた主模型およびロケータまたは支台歯の画質を確認します。画質が不十分な場合は、**[再スキャン・ゾーン]**オプションを使用します。問題ない場合は、**[次へ]**をクリックします。
- 最初にスキャンの設定を追加していた場合は、ロケータと主模型のスキャン完了後、診断スキャン、バイトインデックススキャン、ディスプレイッドスキャン（支台歯を1本ずつバラバラに配置し、スキャンする方法）、および対合歯スキャンが実行されます。前のステップでスキャンしたアイテムは、次のステップの3Dビューアでは透明で表示されます。
- すべてのスキャンが完了したら、**[終了]**をクリックします。
- [保存して閉じる]**をクリックして、治療ラインに戻ります。

スキャン領域の調整

NobelProcera 2Gスキャン・ウィザードのすべてのスキャン領域指示ページで、コントロール・ポイントがスキャン領域に表示されます。


領域全体を別の位置に移動するには、次の手順に従います。

- 領域をクリックしたまま、領域の形状（コントロール・ポイントではない）内をクリックします。
- 適切な位置にドラッグします。

領域の形状を微調整するには、コントロール・ポイントの位置を調整します。

- コントロール・ポイントをクリックしたままにします。
- 適切な位置にドラッグします。

スキャンのインポート

- 治療ラインの**[模型をスキャンするかインポートする]**カードで、以下を行います。
 - [開始]**または**[インポート]**をクリックします。スキャン・モジュールが既に開いている場合は、 **[インポート]**をクリックします。ステップ3に進みます。
- ファイルを追加する:
 - .stlファイルまたは.plyファイルをドロップ・ゾーン（破線で囲まれた正方形）にドラッグ・アンド・ドロップします。
 - 既存の患者の以前のスキャンまたはデザインを再利用するには、**[患者データを再利用]**をクリックします。スキャンまたはデザインを選択します。**[追加]**をクリックします。
- 歯式チャートで、スキャンした歯の範囲、スキャン・アイテムのタイプ、およびスキャナーを選択します。
 - インプラント埋入部位で、**[ロケータ]**を選択し、ロケータのメーカー名とタイプを選択します。**[次へ]**をクリックします。
 - スキャンの作成に使用したスキャナーを選択します。**[終了]**をクリックします。

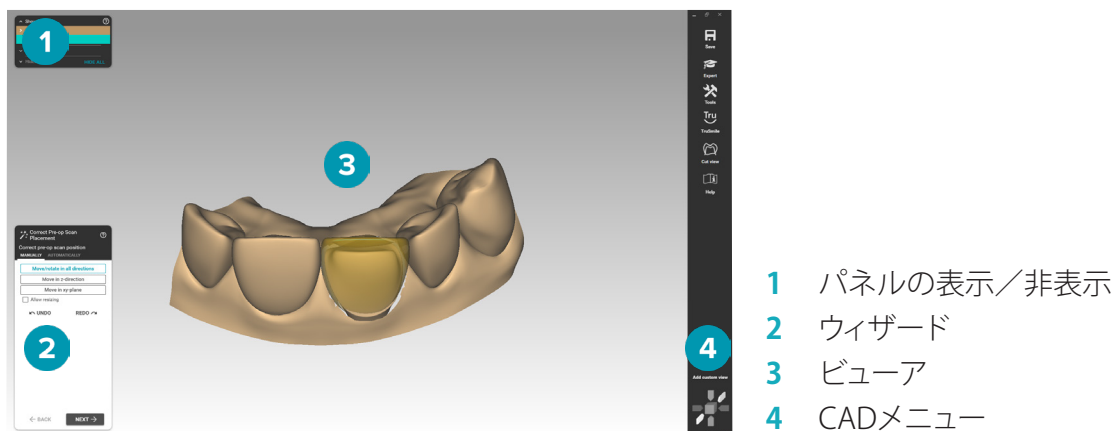
注意: DTX Studio™ Clinicスキャンをインポートする場合 (.nxaファイル、またはリクエストのアップロードとして)、対合歯の診断は顎と統合されます。補綴修復顎の診断は、ウィンドウの下部に個別のタイルとして表示されます。

4. スキャンがスキャン・モジュールの3Dシーンに表示され、ここでスキャン済みモデルを確認することができます。
5. **[保存して閉じる]**をクリックして、スキャン・モジュールを閉じます。

デザイン・モジュール

デザイン・モジュールを開くには、[症例をデザインする]カードの[開始]または[模型の製作]をクリックします。
注意: コンピュータにドングルが差し込まれていることを確認してから、デザイン・モジュールを開いてください。

作業領域の解説



- 1 パネルの表示／非表示
- 2 ウィザード
- 3 ビューア
- 4 CADメニュー

ナビゲーション



右クリックしながらドラッグします。 ビューを回転します。



ホイール・ボタンをスクロールします。 拡大および縮小します。



マウスの左右ボタンをクリックしながらドラッグします。 ビューを移動します。または、キーボードの矢印キーを使用することもできます。



ホイール・ボタンを押します。 クリックした点を中心に置くと、この点が新しい中心点として定義されます。

その他のナビゲーション・オプションについては、30ページのショートカット・キーの概要を参照してください。

オブジェクトの表示／非表示

取得したすべてのスキャン・データは、デザイン・モジュールで利用できます。

- 指定した補綴修復のスキャン・データまたはその一部の表示／非表示を切り替えるには、[表示／非表示]パネルのチェックボックスを使用します。
- オブジェクトはタイプ別にグループ化されています。グループを展開するには、チェックボックスの左側の矢印をクリックします。
- アイテムの透明度を設定するには、リスト内のアイテムをポイントして、表示されるスライダーを使用します。

[歯]パネルで、個々の歯のレベルで表示を設定します。



コンテキスト・メニュー

コンテキスト・メニューは、補綴物の現在の状態に合わせて表示されるため、メニュー・オプションはデザインの過程によって異なります。ウィザードの実行中、必要最低限のメニュー項目を含むコンテキスト・メニューのみが表示されます。

- ルート・コンテキスト・メニューを開くには、ビューアの背景を右クリックします。ここで選択した機能は、補綴物の適切なすべての部分に適用されます。
- 歯固有のコンテキスト・メニューを開くには、ビューアで個々の歯を右クリックします。ここで選択したアイテムは、クリックした歯のみに適用されます。
- コンテキスト・メニュー機能を歯のグループ(すべての歯ではない)に適用するには、次の手順に従います。
 1. CADメニューの[エキスパート]をクリックします。
 2. [Ctrl]キーを押したまま、歯をクリックしてマークします。
 3. 右クリックすると、マークした歯に固有のコンテキスト・メニューが表示されます。

エキスパート／ウィザード

デフォルトでは、デザイン・モジュールがウィザード・モードで開き、手順に従って補綴修復のデザインを進めることができます。

- [エキスパート]  をクリックすると、補綴物のいくつかの段階でウィザードを一時的に中断し、代わりにコンテキスト・メニューを使用することができます。これにより、画面上の歯またはオブジェクトに特定の機能またはパラメーターを適用することができます。
- [ウィザード]  をクリックするとウィザードが再度有効になり、中断したときの同じステップから再開します。

修復のデザイン

デザイン・ウィザードの解説

このウィザードは、デザインのワークフローに沿って進めることができます。

- [次へ]をクリックして次のステップに進むか、[戻る]をクリックして前のステップに戻ります。
- 各ウィザード・ダイアログで表示されるオプションを確認します。ウィザードには、すべての補綴修復パラメーターのデフォルト値(選択した補綴修復およびマテリアルの種類によって異なる)が表示されます。
- ウィザードで変更したパラメーターは、補綴物のすべての歯に適用されます。
- 表示されるページやウィザード・ページの正確な順番は、補綴修復の種類によって異なります。以下は、表示される可能性のあるページのリストです。

ウィザード・ページ	概要
術前スキャンの配置を修正する	診断スキャンがデザイン・モジュールに術前スキャンとしてロードされます。通常の模型スキャンに対する術前スキャンの配置を修正します。
マージン・ラインの検出	特定の歯のマージン・ラインをクリックします。
エマーゼンス・プロファイルの定義	<ol style="list-style-type: none">1. [修正／描画]タブをクリックします。2. シーンをクリックしてコントロール・ポイントを追加します。3. ダブルクリックして終了します。 エマーゼンス・プロファイル・ラインを調整するには、次の手順に従います。 <ul style="list-style-type: none">- 個々のコントロール・ポイントをドラッグ・アンド・ドロップします。- コントロール・ポイントを追加するには、緑色の線上にあるポイントをクリックします。- コントロール・ポイントを削除するには、そのポイントをクリックしたまま、マウスの右ボタンをクリックします。
挿入方向	<ol style="list-style-type: none">1. 目的の挿入方向からプレパレーションが見られるようになるまでビューを回転します。アンダーカット領域がカラー・スケールでマークされます。2. [現在のビューを挿入軸として設定]をクリックします。

クラウン底部	クラウン内部をデザインします。これは、プレパレーションと接触する部分になります。黄色の領域はセメント・ギャップのある領域を表しています。厚さを定義するには、[ギャップ] タブの [セメント・ギャップ] グループの黄色のボックスに対応するスライダーを使用します。
暫間のクラウン底部	<p>暫間内部をデザインします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ボールを挿入軸インジケータ (黄色の矢印) の上にドラッグ・アンド・ドロップします。 2. [クラウン底部の更新] をクリックして変更内容を適用します。 3. 次の手順を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> - [歯のライブラリを使用せずにデザイン] (デフォルト) を選択し、既存の歯を自動的にコピーします。 - [歯のライブラリを使用してクラウンをデザイン] をクリックし、クラウンに歯の汎用ライブラリを使用します。 4. [次へ] をクリックします。
歯のコピー	「コピー」または「ミラー」する歯をクリックします。シーン内をクリックして状況模型を配置します。
模型の歯の配置	顎の隣接歯を選択し、近心および遠心方向を定義します。すると、隣接歯の近心および遠心の接触領域がソフトウェアで検出され、顎内に模型の歯が正しく配置されます。
歯の配置	移動、回転、拡大／縮小することによって、ライブラリから読み込んだ歯の配置を最適化します。歯をドラッグ・アンド・ドロップして調整します。
アバットメント下部の生成	<p>アバットメントのエマージェンス・プロファイル、すなわち歯肉の下の部分をデザインします。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 別の形状を選択するには、[形状] ボタンを使用します。 - コントロール・ポイントの下にあるピンク色の切り替えディスクは、その点が歯肉に付いていることを意味します。ディスクをクリックして、点を歯肉から切り離します。ディスクが緑色に変わります。[Ctrl] キーを押しながらいずれかのディスクをクリックすると、すべてのコントロール・ポイントの色が変わります。 - 緑色のコントロール・ポイントを動かすには、矢印の上でマウス・ボタンをクリックしたまま矢印の方向へドラッグします。コントロール・ポイント自体をクリックすると、全方向に自由に移動できます。 - コントロール・ポイントを追加するには、[Ctrl] キーを押しながらエマージェンス・プロファイルのマージンをクリックします。 - コントロール・ポイントを削除するには、その点をクリックして、マウスの左ボタンと右ボタンを同時に押します。
アバットメントの設計	<ul style="list-style-type: none"> - アバットメントの形状を変更するには、コントロール・ポイントを内側、外側、上下に動かします。 - アバットメントの高さ全体を調整するには、アバットメント中央の矢印の間にある緑色のコントロール・ポイントを使用します。 - コントロール・ポイントを追加するには、[Ctrl] キーを押しながら点線のコントロール・ラインをクリックします。

フリーフォーム

対合歯または隣接歯との距離を表示します (23ページを参照)。

- **[解剖学的]** タブ: 歯の形状を変更するには、歯をクリックしてからドラッグします。
- **[フリー]** タブ: マテリアルを追加するには、歯をクリックして、**[追加/削除]** を押し続けます。押し続けた分だけマテリアルが追加されます。**[Shift]** キーを押したままにすると、マテリアルが削除されます。**[平滑化/平坦化]** を有効にして、平坦化する部分をマウスでクリックしたままにします。
- **[適合]** タブ: 対合歯 (スキャンした場合)、ポンティック (ある場合)、および隣接歯に補綴修復物を適合させます。

術前スキャンに適合する

スキャン・モジュールを使用して診断スキャンを行った場合、このスキャンは術前スキャンとしてデザイン・モジュールに読み込まれます。症例がDTX Studio™インプラントからインポートされており、そのインポートされた症例に診断ワックスアップが含まれていない場合は、SmartSetup™が術前スキャンとして使用されます。

適用を開始するには**[歯の模型を適用]** をクリックします。適用が適切に行われたら、**[停止]** をクリックします。

縮小する

解剖学的形状を縮小して解剖学的コーピングのフレームワークを作成します。

[深さ] スライダーでカットバックの量、つまりフレームワークに適用するセラミック層の厚さを調節します。必ず、最低限の厚さを適用します。

コネクター

[形状] タブでコネクターの位置を変更します。

- コネクターをドラッグ・アンド・ドロップします。コネクター自体が、新しい位置の歯に再適用されます。
- 片側だけのコネクターの連結部を変更するには、**[Ctrl]** を押しながら歯をクリックして連結ポイントの位置を変更します。

[フリー] タブでコネクターを編集します。

- コントロール・ポイントを移動するには、クリックしてドラッグします。複数のコントロール・ポイントを同時に移動するには、**[Shift]** キーを押した状態でコントロール・ポイントの1つをドラッグします。
- コントロール・ポイントを追加するには、**[Ctrl]** キーを押したままコネクターの中心線をクリックします。

指定したものよりもコネクターが薄い場合、薄い領域が赤くマークされます。コネクターの領域が最小サイズの制限に違反している場合、次のデザイン手順に進むことはできません。

さまざまなパラメーターまたは形状を補綴物の特定のコネクターに適用するには、**エキスパート・モード**に移行してコネクターを右クリックし、**[コネクター]** を選択します。ここで行った変更は、すべてのコネクターに適用されます。

補綴修復のマーージと保存 このステップでは、設計されたすべての要素を1つまたは複数のメッシュに結合（マーージ）します。物理的要素ごとに1つのメッシュが作成されます。

[次へ]タブで、[次へ]をクリックしたときに実行するアクションを選択します。

- **完了済み:** デザイン・モジュールを閉じます。
- **表面構造を今すぐデザインする:** アバットメント + 補綴修復、ベース上のアバットメント + 補綴修復、アバットメント上のブリッジ、アバットメント上のフルカントゥア・ブリッジに対してアバットメントをデザインした直後に、表面構造をデザインします。
- **補綴修復のフリーフォーム:** .stl出力に使用できるフリーフォーム・ツールが表示されます。
- **エキスパート・モード:** 完成したデザインを調整したり、デザインした部分のマーージを解除するには、エキスパート・モードに切り替えます。
- **模型のデザイン:** 模型の製作ウィザードを開きます。



補綴修復をマーージすると、ウィザードの前の手順に直接戻ることはできません。プロセスを遡るには、[保存したファイル]タブの[既存のマーージされたパーツを削除]をクリックします。

コンタクトと咬合の可視化

対合歯との距離（または接点）を表示するには、CADメニューの[距離の表示]をクリックします。

バーチャル・アーティキュレーター

バーチャル・アーティキュレーターにより、半調整アーティキュレーターの使用および補綴修復の動的な咬合機能の設定ができるようになります。この機能を使用するには、対合歯の模型またはバイト・インデックスをスキャンしておく必要があります。

1. [エキスパート]  をクリックします。
2. CADメニューの[ツール]をクリックします。
3. [アーティキュレーターの起動]  を選択します。
4. 動的咬合シミュレーション・パラメーターを調整します。

仮想歯肉

ベース上のインプラント・ブリッジまたは補綴修復に対して、ソフト・ティッシュをデジタルでデザインできます。

1. [仮想下顎ワックスアップ]ページで、[仮想歯肉のデザイン]をクリックします。
2. 歯肉のマージン・ラインを描画し、[適用]をクリックします。[次へ]をクリックします。
3. 歯肉を自由変形し、[次へ]をクリックします。
4. 縮小手順に進みます。[次へ]をクリックします。
5. 別の自由変形手順に進みます。[次へ]をクリックします。
6. マルチユニット補綴修復の場合は、コネクターの形状を選択するか、**X**を選択して、コネクターを使用せずに補綴修復を作成します（歯は歯肉によって接続されます）。[断面/形状変更を適用]をクリックし、[次へ]をクリックします。
7. 補綴修復が結合されます。

製作用ブランク

シングル・ユニットのインプラントに基づく補綴修復の場合、デザインのワークフロー全体を通じて[最大ファイル]が表示されます。このファイルに違反している場合、デザインの製造が禁止されます。デザインが制約の範囲を超えている場合、修正が必要なデザインの部分を示す赤い矢印が表示されます。

その他すべての補綴修復の場合、製作用ブランクでは、デザインが指定した制限の範囲内に収まっているかどうかが表示されますが、デザインのオーダーに進むことはできます。

1. [補綴修復を統合して保存]ウィザード・ページの[表示/非表示]パネルで、[製作用ブランク]を選択します。
2. ブランクの位置を変えて補綴修復物の周りに入れ、デザイン全体を確実に覆うようにします。

模型の製作

模型の製作ウィザードの解説

模型の製作ウィザードでは、口腔内スキャン・データまたは印象スキャンから物理模型をデザインできます。模型の製作ウィザードを開始するには、[症例をデザインする]カードの[模型の製作]をクリックします。スキャン症例または依頼から開始する場合は、[スキャン結果]カードの[模型の製作]をクリックします。

注意: 模型の製作ウィザードをサポートするドングルがあることを確認してください。

模型のタイプには以下の2種類があります。

- 「プレート付き」の模型は、あらかじめ製造された(ピン)ベース・プレートを使用しており、分離可能なセグメントを持つ分割した石膏模型に似ています。
- 「プレートなし」の模型は、隣接する/健全な歯肉のスキャン・データによる可撤式の支台歯がベースに埋め込まれた一体型の模型です。

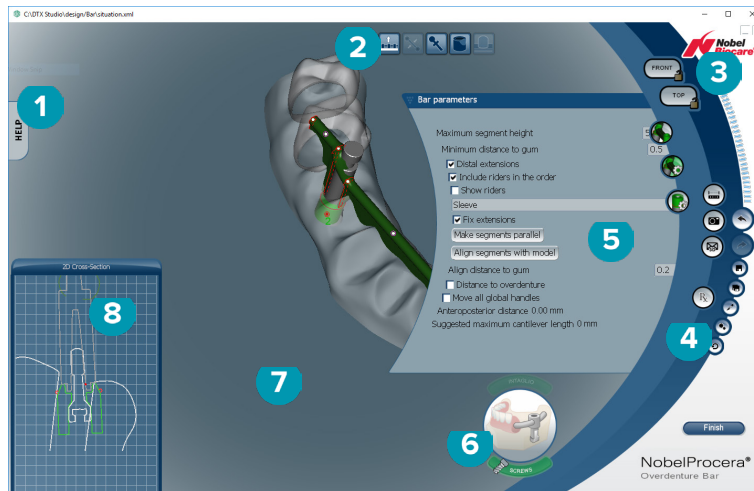
表示されるページやウィザード・ページの正確な順番は、修復の種類と模型のタイプによって異なります。以下は、表示される可能性のあるページのリストです。

ウィザード・ページ	概要
模型アライメント	模型タイプを選択します。 プレートなしの模型の場合は、スキャンを2つの平行面内に配置します。 プレート付きの模型の場合は、スキャンを表示されたピン・ベース上に配置します。 赤色の印が付いたスキャン・データはクリッピングされます。
3Dデータ・エディタ	スキャン・データを削除およびトリミングして、模型領域を編集します。
エマーゼンス・プロファイルの定義	模型と修復物の両方をデザインする場合は、マージン・プロファイルを1回だけ検出して調整する必要があります。20ページのデザイン・ウィザードを参照してください。
マージン・ラインの検出	特定の歯のマージン・ラインをクリックします。
プレートなしの模型の場合	
歯の支台歯の切り替え	模型内で分離可能にする必要のある歯を選択します。
プレートなし模型のデザイン	模型のパラメーターを設定します。
模型アタッチメント	[アタッチメント]タブで、アタッチメントを選択し、シーン内をクリックしてアタッチメントを追加します。アタッチメントをクリックしてからドラッグして、正しく配置します。[Ctrl]キーを押したままドラッグすると、アタッチメントが回転します。 [テキスト]タブでテキストを入力し、[テキストの追加]をクリックします。テキストを移動するには、そのテキストをクリックしてドラッグします。印刷できるように、滑らかな表面上に配置します。印刷できない場合、テキストは赤色で表示されます。
プレート付きの模型の場合	
模型のセグメンテーション	[面]タブで、灰色または緑色のドットをクリックして、セグメンテーションまたは切削面をオンまたはオフに切り替えます。3Dシーン内で面を調整します。 <ul style="list-style-type: none">- 面を水平に移動するには、黄色のコントロール・ポイントをクリックし、適切な位置にドラッグします。- 面を回転させるには、唇側/頬側または舌側の緑色のコントロール・ポイントをクリックしてドラッグします。- 面の角度を調整するには、[Ctrl+Shift]を押したまま、色の付いた面の表面をクリックしてドラッグします。
模型の製作の完了	[次へ]をクリックしたときに実行するアクションを選択します。 <ul style="list-style-type: none">- 完了済み: デザイン・モジュールを閉じます。- エキスパート・モード: エキスパート・モードに入って、完了した模型デザインを調整します。- 今すぐ補綴修復をデザインする: 補綴修復のデザインを続行します。

バー・モジュール

バー・モジュールは、バー修復が計画されている症例で使用できます。バー・モジュールを開くには、[症例をデザインする]カードの[開始]をクリックします。

作業領域の解説



- 1 ヘルプファイル
- 2 バー・ツール
- 3 表示選択
- 4 メニュー・オプション
- 5 パラメーター
- 6 表示
- 7 3Dビュー
- 8 2Dクロスセクション・ビュー

ナビゲーション

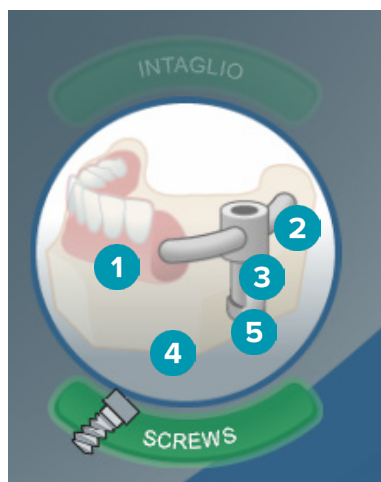
3Dビュー内で修復をクリックすると、ハンドル、軸、サークルなどが表示されます。

3Dビュー内で補綴修復を右クリックしてマウスを動かすと、修復が回転します。

オブジェクトの表示／非表示

表示ツールを使用すると、3Dビュー内のデザイン要素の表示／非表示または透過性の適用を行うことができます。

- オブジェクトをクリックすると、デザイン要素が表示されるか、またはボタンが有効になります。
- オブジェクトをダブルクリックすると、デザイン要素が透過表示されます。
- オブジェクトを右クリックすると、デザイン要素が非表示になります。





- 1 補綴／診断
- 2 バー
- 3 シリンダー
- 4 模型
- 5 インプラント／レプリカ

[Intaglio]をクリックして、人工歯基底部スキャンを表示または非表示にします(適用可能な場合)。**[Screws]**をクリックすると、スクリューのフィット具合が表示されます。

バーのデザイン






バーのデザイン方法はバーのタイプによって異なります。直前のステップに戻ることはできますが、既に完了したステップの取り消しを防ぐために、順序どおりにステップを実施することを推奨します。

ステップ	概要
バーのタイプの選択	[Change bar type]  をクリックし、バーのタイプを選択します。
模型のアライメント	[Activate alignment tool]  をクリックします。[Front] をクリックします。模型を少し回転させて、2番目のサークル面が見えるようにします。このサークル面のいずれかがオレンジ色になるまで、サークル面にマウスを置きます。模型を所定の位置に回転させます。
セグメントの調整	[Activate bar deformations tool]  をクリックします。[Segments]  をクリックし、対象のオプションを選択またはクリアします。表示ツールで補綴物をダブルクリックし、半透明にします。[Front] ボタン上で [Lock]  をクリックします。セグメントのハンドルを使用して、セグメントを適切な位置まで移動させます。2D断面ビューを使用して、歯肉表面とセグメントとの間、およびオーバードンチャーとの間の距離を検証します。
バー形状の修正	[Activate bar deformations tool]  をクリックします。 バーの高さと厚みは、全体または1つのセクションとして一度に修正できます。色付きのハンドルを使用して、バー・デザインをカスタマイズします。[Segments]  で使用可能なオプションは、修正するバーのタイプに応じて変わります。
シリンダーの高さの調整 (オプション)	表示ツールで補綴物をダブルクリックし、半透明にします。[Front] ボタン上で [Unlock]  をクリックします。シリンダーのハンドルを使用して、シリンダーの高さを変更します。2D断面ビューを使用して、歯肉表面とエクステンションの間の距離を検証します。
アタッチメントの追加	[Top] をクリックし、[Attachment positioning]  をクリックします。2番目のドロップダウン・リストで、[Placement mode] を選択します。3番目のドロップダウン・リストで、アタッチメントのタイプを選択します。3Dビュー内をクリックしてアタッチメントを配置します。必要に応じて、カーソルを少し移動します。もう1回クリックしてアタッチメントの最終位置を確定します。
シリンダーの面取り (オプション)	[Activate cylinder beveling tool]  をクリックし、シリンダーをクリックします。青色のハンドルをクリックし、回転させて面取りの位置を設定します。黄色のハンドルをクリックして、面取りを開始する位置まで移動させます。緑色のハンドルをクリックして移動させ、適切なカットの角度を確保します。
バーのライダーの表示 (オプション)	[Bar parameters]  をクリックし、[Show riders] を選択します。ドロップダウン・リストから、ライダーのタイプを選択します。
オフセット・シリンダーへのリンクの調整	オフセット・シリンダーのリンクをクリックします。[Cylinders parameters]  をクリックし、[Show links] を選択します。編集するリンクをクリックし、ハンドルを移動します。
バーの歯肉表面の確認	[Fit to gum]  をクリックします。3Dビューでバーをクリックし、2D断面ビューを使用してバーの歯肉表面の位置と形状を確認します。
ハイブリッド・バーの前歯部領域の定義	[Bar parameters]  をクリックし、[Anterior region definition] を選択します。参照オブジェクトを選択し、オプションを設定します。

ハイブリッド・バーへのリテンションの配置	[Activate retentions positioning]  をクリックします。マーケットで利用できない場合は、メッセージが表示されます。 [Retentions]  をクリックし、[Show retentions] を選択します。バーの上にカーソルを置きます。これは、丸で囲んだ赤いドットになります。リテンションを配置する位置でクリックします。リテンションの [Height] と [Radius] を調整します。
バー・デザインの終了	[Finish] をクリックします。概要が表示されます。[Proceed] をクリックします。

ツール

ウィンドウの上部に以下のツールが配置されています。

ツール	概要
 症例アライメント	模型とバーの間の角度を再調整します。
 バー変形	可撤式バーの形状を修正します。
 アタッチメント・ポジショニング	アタッチメントをバー上に配置します。
 シリンダー面取り	シリンダーを面取りします。
 リテンション・ポジショニング	ハイブリッド・バー専用で、小さな「維持用の突起」をバー上に配置して、その保持特性を高めめます。

パラメーター

使用可能なすべてのパラメーターの概要については、32ページの付録「付録2: パラメーター・バー・モジュール」を参照してください。

オーダー

補綴修復症例をデザインしたら、製品をオーダーします。


オーダーの作成

1. 治療ラインの一番上にある**[オーダーする]**アクション・カードの**[開始]**をクリックします。
2. **[送付先]**のアドレスを選択し、誰がオーダーを発行するかを入力して、必要に応じて製作についてのコメントや、いわゆる検査を追加します。
3. **[オーダー・リスト]**を確認します。必要に応じて、リストからオーダー品目を削除したり、数量を変更したり、クーポンを追加したりすることができます。
4. **[今すぐオーダー]**をクリックしてオーダーを続行します。
5. **[オーダーの受領]**カードの**[表示]**をクリックし、オーダーの概要でオーダーを確認します。


オーダーのソート、検索、およびフィルタリング

左側のサイドバーの**[オーダー]**  をクリックし、発注可能なオーダーの概要を表示します。



オーダーをソートするには、次の手順に従います。

1. **[オーダー]**リストで下向き矢印  をクリックします。
2. **[送信日]**、**[患者名 (A~Z)]**、**[歯科医師名 (A~Z)]**、**[オーダーID]** または **[作成日]** を選択します。
3. **[昇順]** または **[降順]** を選択します。

オーダーをフィルタリングするには、次の手順に従います。



1. **[オーダー]**リストで、 をクリックします。
2. **[すべてのオーダー]**、**[完了したオーダー]**、**[製作中のオーダー]**、**[配信済みオーダー]**、または **[失敗したオーダー]** を選択します。

オーダーを検索するには、次の手順に従います。

-  **[オーダーの検索]** ボックスに、検索対象のオーダー番号、患者名、患者ID、歯科医名 (一部でも可) を入力します。
- 検索結果をクリアするには、 をクリックします。

ローカルで製作するためのファイルのエクスポート


ローカル製作の修復物またはテンプレルの製作に必要なファイルをエクスポートするには、次の手順に従います。

1. **[オーダー]**  リストで、完了したIn-lab restoration (ラボ内で製作する修復物) を選択します。テンプレルの場合は、**[症例]**  リストで計算済みテンプレルを選択します。
2. **[オーダーの受領]** カードまたは **[計算済みテンプレル]** カードで、**[作成]** をクリックします。
3. 製作装置を選択し、**[選択]** をクリックします。
4. ファイルをエクスポートするフォルダを選択し、**[フォルダの選択]** をクリックします。


注意: フォルダのデフォルトのパスは設定で指定できます。

5. ローカル製作ファイル (.stlファイル) がエクスポートされます。

患者

DTX Studio™ Labに保存された患者記録の概要を表示するには、左側のサイドバーで**[患者]**  をクリックします。



患者リストの右側にあるウィンドウには、選択した患者の症例が表示されます。

患者を検索するには、 **[患者の検索]** 検索ボックスに患者名（一部でも可）または患者IDを入力します。

付録1: ショートカット・キー

DTX Studio™ Labで使用できるキーボードのショートカットの概要を以下に示します。

2つ以上のキーを同時に押すキーボードのショートカットの場合、押すキーはプラス記号(+)で区別されています。代替のキーボードのショートカットが使用できる場合、代替のキーは'または'で区別されます。

キー	アクション
一般的なショートカット	
[Alt]+[F4]	アプリケーションを終了します。
スキャン・モジュール	
マウスの右ボタン	一時的に回転モードに切り替わります。
[Ctrl]	一時的にズーム・モードに切り替わります。
[Shift]、またはホイール・ボタンをスクロールする	一時的にズーム・モードに切り替わります。
スペース・バーを押す	ズームをリセットします。
矢印キー	X軸およびY軸を中心に模型を回転させます。 キーを押すたびに模型が1°回転します。いずれかのキーを1秒以上押すと、模型は一定の速度で連続して回転します。  Y軸を中心に回転させます。  X軸を中心に回転させます。
1、3、5、7、9	標準のクリニカル・ビューの切り替え: 1 左側面のビュー 3 右側面のビュー 5 正面からのビュー 7 頭蓋方向のビュー 9 顎方向のビュー
+	拡大します。ボタンを押し続けると拡大し続けます。
-	縮小します。ボタンを押し続けると縮小し続けます。
デザイン・モジュール	
マウスの右ボタンまたは [Page Up] / [Page Down]	ビューを回転します。
マウスの右+左ボタンまたは矢印キー	ビューを移動します。
ホイール・ボタンを押す	ビューを中心に移動し、新しい回転ポイントを設定します。
ホイール・ボタンのスクロール	拡大および縮小します。
[Shift]	拡大 / 縮小に切り替えます。

キー	アクション
[Ctrl] + ホイール・ボタン	クリックしたオブジェクトを非表示にします。
[Shift] + [Ctrl] + ホイール・ボタン	直前に非表示にしたオブジェクトを表示します。
[Shift] + ホイール・ボタン	クリックしたオブジェクトを透過させます。
Tab	タブを切り替えます。
[Ctrl] + Z	元に戻します。
[Ctrl] + Y	やり直します。
[Ctrl] + S	保存します。
[Ctrl] + X	切り取ります。
[F11]	全画面モードを使用します。
[Ctrl] + [Shift] + [F3]	Teamviewer、Netviewer、リモート・デスクトップ、VNCなどによるリモート・ビューを最適化します。
[Ctrl] + D	距離ツールを表示します。
[Ctrl] + R	測定ツールを表示します。
[Ctrl] + P	平面のクリップ・ツールを表示します。
[F1]	ヘルプ・ファイルを表示します。
[Ctrl] + スペースバー	ウィザードの次のページに進みます。
[Ctrl] + バック・キー	ウィザードの前のページに進みます。

グループの表示／非表示

A 対合	S 顎のスキャン	G 歯肉のスキャン	E 解剖学的部位
C コネクター	W ワックスアップ・スキャン	F フルカントウア・パーツ	R 削減パーツ
P 術前	V 仮想歯肉デザイン	I 2D画像	D DICOM
T テレスコープ	O その他	B クラウン底部	M 結合部分
X 上顎*	N 下顎*		

グループの透過性を変更するには、[Shift] キーと上記ショートカット・キーのいずれかを使用します。

* 上顎と下顎の両方に修復がある症例にのみ使用できます。

付録2: パラメーター・バー・モジュール

バー・モジュールの右側で、以下のパラメーターを設定できます。どのパラメーターを使用できるかは、バーのタイプと選択したツールに応じて異なります。

アイコン	パラメーター
	バーのタイプ
	バー・パラメーター
	シリンダー・パラメーター
	歯肉部分へ適合
	レジンのフィニッシュライン
	シリンダー面取り
	セグメント
	アタッチメント・ポジショニング
	リテンション

バーのタイプ

次のバー・タイプがサポートされています。

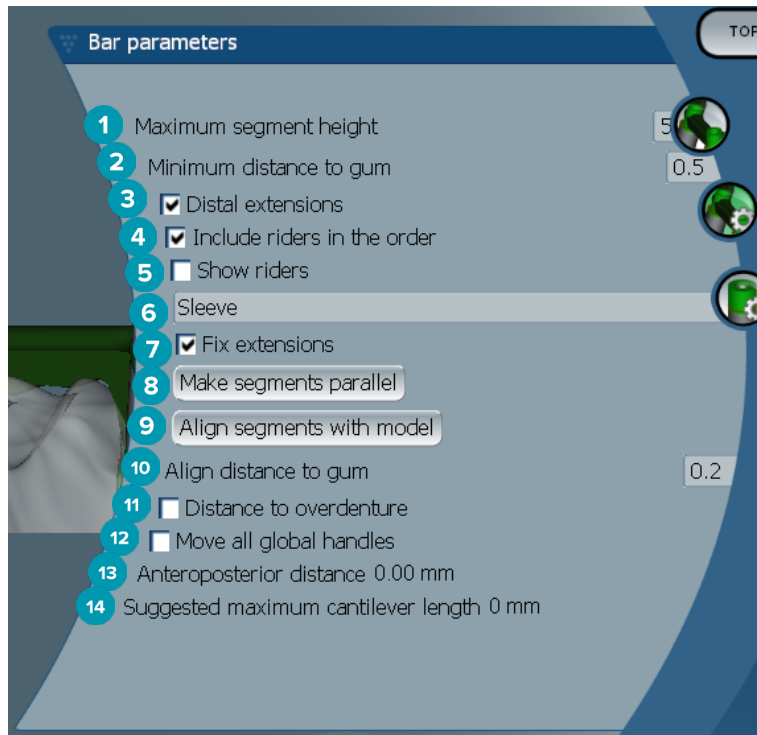


- | | | | |
|---|------------------------|----|-----------------------|
| 1 | 可撤式バー・タイプ | 7 | 固定式バー・タイプ |
| 2 | ラウンド・バー | 8 | モンリオール・バー |
| 3 | ドルダー・バー (マクロ/マイク
ロ) | 9 | リングカラー付きモン
リオール・バー |
| 4 | ヘーダー・バー | 10 | ラップアラウンド・バー |
| 5 | フリーフォーム・ミルド・バー | 11 | ハイブリッド・バー |
| 6 | パリス・バー | | |

バー・パラメーター

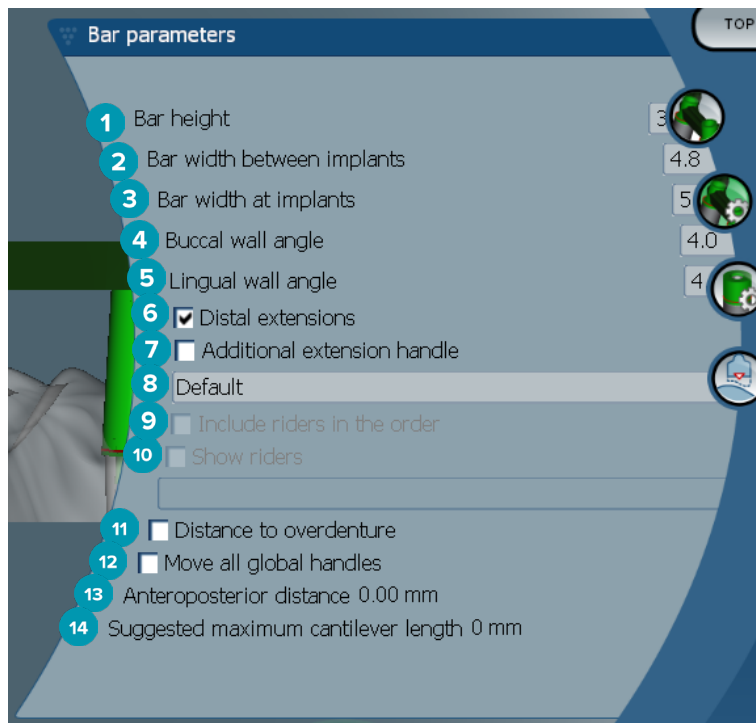
バーのタイプごとに、パラメーターの独自のセットがあります。

ライダー付きバー



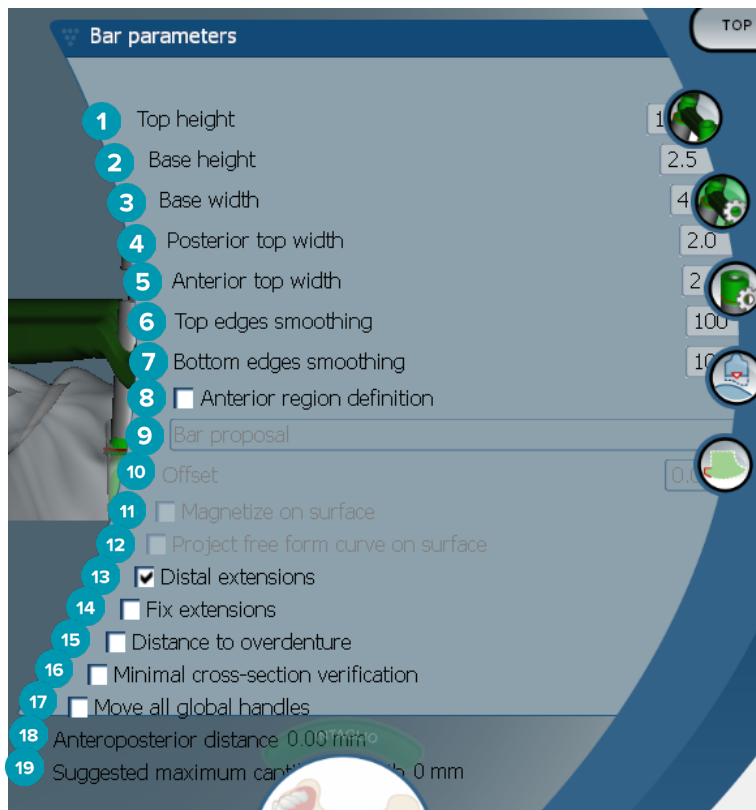
- 1 最大セグメント高さ (ヘーダー・バーでのみ使用可能)
- 2 歯肉表面までの最大距離 (ヘーダー・バーでのみ使用可能)
- 3 末端のエクステンション: 最後臼歯部のシリンダーから遠心カンチレバーの追加または削除。
- 4 ライダーをオーダーに含める
- 5 ライダーの表示
- 6 ドロップダウン・メニューでライダーのタイプを選択できます。
- 7 エクステンションの固定: 最後臼歯部のシリンダーに遠心カンチレバーを取り付ける部分を補強します。
- 8 セグメントの平行化
- 9 セグメントと模型とのアライメント
- 10 歯肉表面までの距離のアライメント
- 11 オーバーデンチャーとの距離: カラー・コーディングを使用して、オーバーデンチャーまでの距離をミリメートル単位で表示します。
- 12 すべてのグローバル・ハンドルを同時に移動します。
- 13 前臼歯方向の距離を表示します。
- 14 推奨されるカンチレバーの最大長を表示します。

フリーフォーム・ミルド・バー



- 1 バーの高さ
- 2 インプラント間のバーの幅
- 3 インプラント位置のバーの幅
- 4 頬側壁角度
- 5 舌側壁角度
- 6 末端のエクステンション: 最後部のシリンダー末端のエクステンションを追加／削除します。
- 7 追加のエクステンション・ハンドル
- 8 ハンドルのタイプを選択
- 9 ライダーをオーダーに含める
- 10 ライダーの表示
- 11 オーバーデンチャーとの距離: カラー・コーディングを使用して、オーバーデンチャーまでの距離を表示します。
- 12 すべてのグローバル・ハンドルを同時に移動します。
- 13 前臼歯方向の距離を表示します。
- 14 推奨されるカンチレバーの最大長を表示します。

ハイブリッド・バー



- 1 トップの高さ
- 2 ベースの高さ
- 3 ベースの幅
- 4 臼歯切縁の幅
- 5 前歯切縁の幅
- 6 トップ・エッジ・スムージング
- 7 ボトム・エッジ・スムージング
- 8 前歯部領域定義はバーのフリーフォームのゾーンです。これは、次のオプションのいずれかと一緒に定義されます。
- 9
 - **Overdenture:** フリーフォームのラインはオーバーデンチャーの制限に従います。表面またはオフセットに引きつけることができます。
 - **Intaglio:** フリーフォームのラインは人工歯基底部の制限に従います。表面またはオフセットに引きつけることができます。
 - **Bar proposal:** フリーフォームのライン・プロポーザルはバーに一度に表示されます。
- 10 オフセット: バーとフリーフォームのライン間の距離です。
- 11 表面のマグネタイズ: [Overdenture]または[Intaglio]のオプションと一緒に使用。このオプションでフリーフォームの曲線は、少なくとも3点の補間から作成される対象物のスキャン表面に引き寄せることができます。
- 12 表面上のプロジェクト自由曲線: [Overdenture]または[Intaglio]のオプションと一緒に使用。参照オブジェクトと自由曲線上のバーの点は、フリーフォームのハンドルと垂直に整列されます。ハンドルを追加すると、緩やかな曲線になります。
- 13 末端のエクステンション: 最後部のシリンダー末端のエクステンションを追加／削除します。
- 14 エクステンションの固定: 最後の2つのシリンダー末端のエクステンションを取り付ける部分を補強します。

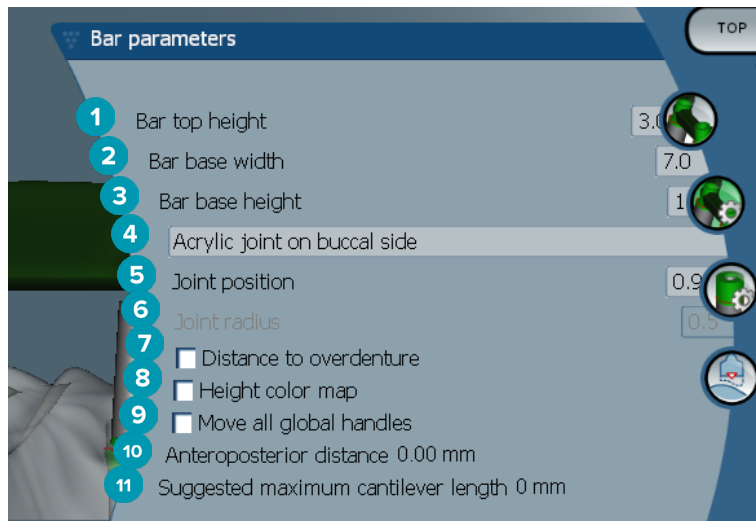
- 15 オーバーデンチャーとの距離: カラー・コーディングを使用して、オーバーデンチャーまでの距離を表示します。
- 16 最小限の断面の検証: 検証の形状を切り替えます。制約を超えた場所が黄色の輪郭で最小限の断面を表示します。
- 17 すべてのグローバル・ハンドルを同時に移動します。
- 18 前臼歯方向の距離を表示します。
- 19 推奨されるカンチレバーの最大長を表示します。

モントリオール・バー



- 1 バーのトップの高さ
- 2 バーのトップの幅
- 3 バーのベースの幅
- 4 バーのベースの高さ
- 5 樹脂製ジョイントが歯肉側と頬側のどちらにある必要があるかを選択します。
- 6 ジョイントの位置
- 7 ジョイントの半径
- 8 オーバーデンチャーとの距離: カラー・コーディングを使用して、オーバーデンチャーまでの距離を表示します。
- 9 高さカラー・マップ: 歯肉表面に面しているバーの下側の表面をカラー表示して、バーが薄すぎて作製できないかどうかを示します。
- 10 すべてのグローバル・ハンドルを同時に移動します。
- 11 前臼歯方向の距離を表示します。
- 12 推奨されるカンチレバーの最大長を表示します。

リングカラー付きモトリオール・バー



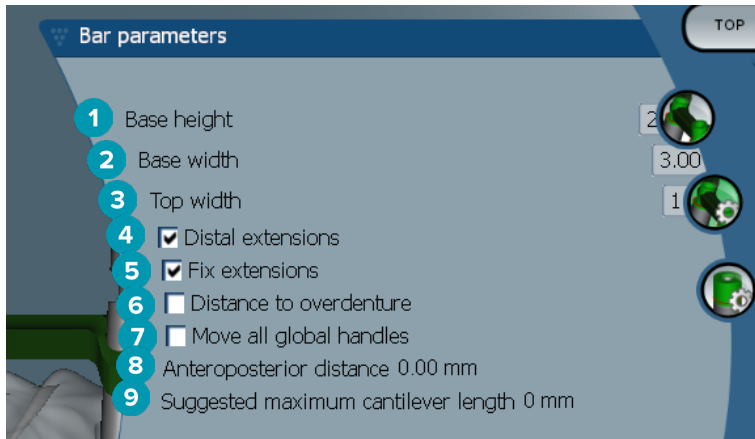
- 1 バーのトップの高さ
- 2 バーのベースの幅
- 3 バーのベースの高さ
- 4 樹脂製ジョイントが歯肉側と頬側のどちらにある必要があるかを選択します。
- 5 ジョイントの位置
- 6 ジョイントの半径
- 7 オーバーデンチャーとの距離: カラー・コーディングを使用して、オーバーデンチャーまでの距離を表示します。
- 8 高さカラー・マップ: 歯肉表面に面しているバーの下側の表面をカラー表示して、バーが薄すぎて作製できないかどうかを示します。
- 9 すべてのグローバル・ハンドルを同時に移動します。
- 10 前臼歯方向の距離を表示します。
- 11 推奨されるカンチレバーの最大長を表示します。

パリス・バー



- 1 バーのトップの高さ
- 2 バーのトップの幅
- 3 バーのベースの幅
- 4 バーのベースの高さ
- 5 頬側壁角度
- 6 舌側壁角度
- 7 樹脂製ジョイントが歯肉側と頬側のどちらにある必要があるかを選択します。
- 8 ジョイントの位置
- 9 オーバーデンチャーとの距離: カラー・コーディングを使用して、オーバーデンチャーまでの距離を表示します。
- 10 高さカラー・マップ: 歯肉表面に面しているバーの下側の表面をカラー表示して、バーが薄すぎて作製できないかどうかを示します。
- 11 すべてのグローバル・ハンドルを同時に移動します。
- 12 前臼歯方向の距離を表示します。
- 13 推奨されるカンチレバーの最大長を表示します。

ラップアラウンド・バー

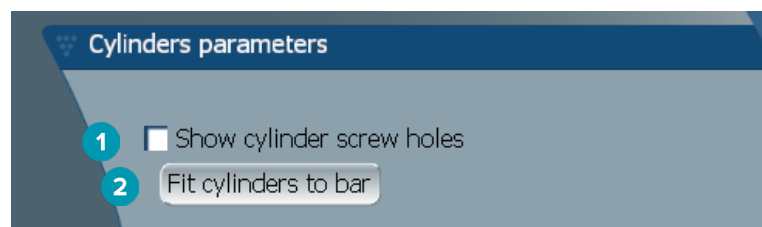


- 1 ベースの高さ
- 2 ベースの幅
- 3 トップの幅
- 4 末端のエクステンション: 最後部のシリンダー末端のエクステンションを追加／削除します。
- 5 エクステンションの固定: 最後の2つのシリンダー末端のエクステンションを取り付ける部分を補強します。
- 6 オーバーデンチャーとの距離: カラー・コーディングを使用して、オーバーデンチャーまでの距離をミリメートル単位で表示します。
- 7 すべてのグローバル・ハンドルを同時に移動します。
- 8 前臼歯方向の距離を表示します。
- 9 推奨されるカンチレバーの最大長を表示します。

シリンダー・パラメーター

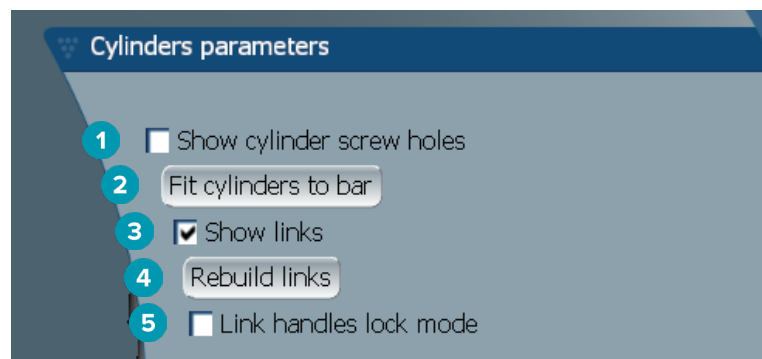
どのシリンダー・パラメーターを使用できるかは、選択したバーのタイプに応じて異なります。

ラウンド・バー、ヘーダー・バー、およびパリス・バー



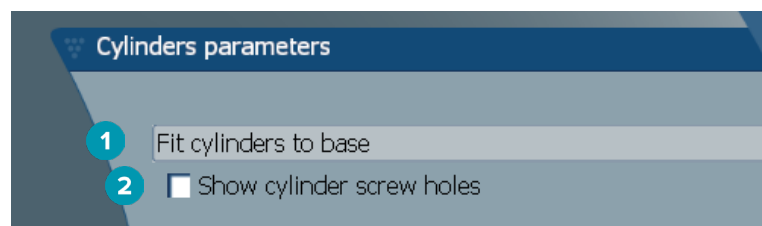
- 1 シリンダーのスクリュー・ホールを表示
- 2 シリンダーをバーに固定

ドルダー・バーおよびフリーフォーム・ミルド・バー



- 1 シリンダーのスクリュー・ホールを表示
- 2 シリンダーをバーに固定
- 3 リンクを表示
- 4 リンクの再構築
- 5 リンク・ハンドルのロック・モード

モントリオール・バー



- 1 シリンダーをベースに固定
- 2 シリンダーのスクリュー・ホールを表示

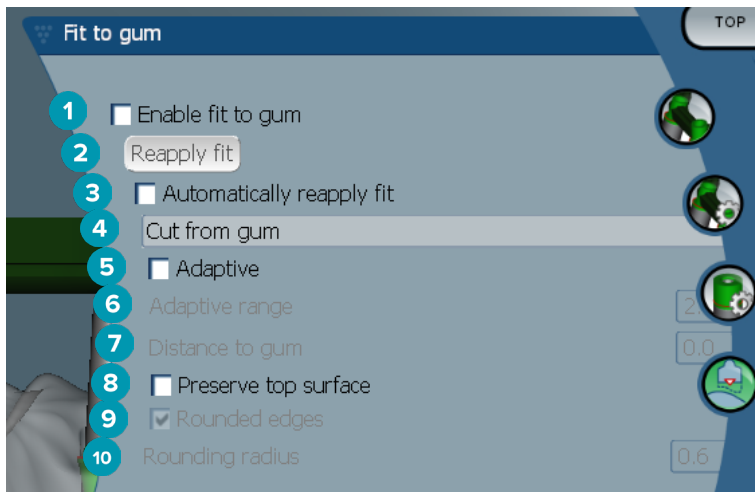
ラップアラウンド・バーおよびハイブリッド・バー



- 1 修正するシリンダー:
- 2 1つまたはすべてのシリンダーを選択します。[All cylinders]が選択されている場合、以下のパラメーターの値は、すべて同一でなければ空白になります。
- 3 エマージェンス・プロファイル・タイプ
- 4 [Wide]または[Narrow]を選択します。
- 5 シリンダー厚さ
- 6 カラー直径
- 7 カラー上側の高さ
- 8 カラー下側の高さ
- 9 ラップ・プレーンの変更
- 10 シリンダーのスクリュー・ホールを表示
- 11 シリンダーをバーに固定
- 12 シリンダーをワックスアップに固定
- 13 リンクを表示
- 14 リンクの再構築
- 15 リンク・ハンドルのロック・モード

歯肉部分へ適合

[Fit to gum] 機能は、自動的にバーの歯肉面の形状を歯肉の形状に調整し、それによりギャップや食渣の混入を防止します。[Fit to gum]は、モントリオール、リングルカラー付モントリオール、パリス、ハイブリッド、およびフリーフォーム・ミルド・バーで使用可能です。



- 1 歯肉部分へ適合オプションを有効にし、現在の歯肉部分へ適合設定をデザインに適用します。
- 2 適合を再適用します。バーを再構築します。
- 3 自動的に適合を再適用
- 4 適合の適用方法を選択します。
 - [Expand to gum] は、基本的には歯肉組織に向けてバーを伸ばします。
 - [Cut from gum] は、歯肉組織とぶつかるバー・マテリアルを除去します。
- 5 適応型: 歯肉表面に適応するためバーの歯肉表面の断面形状が変更され、それ以外の場合は、バーの歯肉表面の断面形状が保持されます。この設定は、[Expand to gum]でのみ使用できます。
- 6 [Adaptive range] は、[Adaptive behavior]に許容される最大延長距離(単位: mm)です。
- 7 歯肉部分までの距離: バーと歯肉組織間の最小距離を変更します。
- 8 上面を維持: バーの上面が歯肉部分への適用の計算によって影響されないことが保証されます。
- 9 エッジを丸める: [Rounding radius] 値に応じて、バーに沿ってエッジを丸めます。
- 10 丸め半径

レジンのフィニッシュライン



レジンのフィニッシュライン (AFL) は、ハイブリッド・バーのレジンの仕上げの制限を定義します。棚はレジン材料が適用されたバー上に作成される。[Acrylic finish line] パラメーターは、ハイブリッド・バー・タイプで表示されます。



- 1 レジンのフィニッシュライン: バー側にデフォルトの1 mmのノッチを追加します。このノッチはレジンの仕上げの制限をマークします。
- 2 レジンのフィニッシュラインの編集: フィニッシュラインに沿ってハンドルが表示され、そのデザインが可能になります。

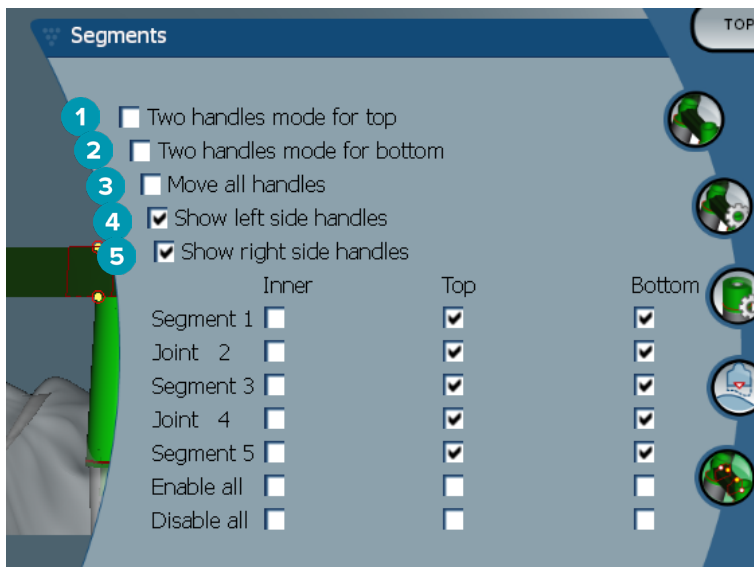
- 3 フィニッシュラインの位置をロック: 他の変形ツールでフィニッシュラインのズレを防止します。
- 4 棚傾斜: バーの壁に対して垂直からの角度(0°)で表すことができ、またはバーの壁上の水平線からの低下を0.1 mm単位で表すことができます。フィニッシュラインの両側(頬側および舌側)が変更されます。

セグメント

[Bar deformation] ツール  で、[Segments]  パラメーターを有効にします。どのセグメントを使用できるかは、選択したバーのタイプに応じて異なります。

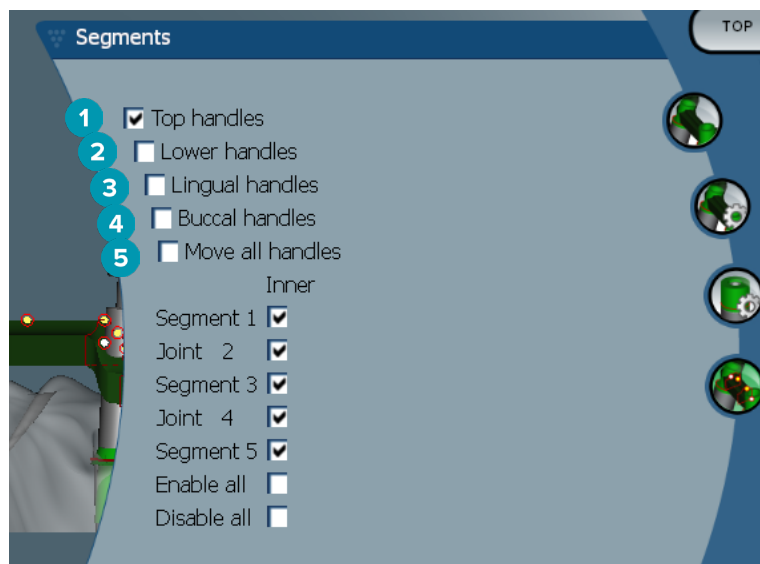
オプションの下に、セグメントとジョイントのテーブルがあります。セグメントとは、2個のインプラントおよび末端のエクステンションの間の部分を指します。ジョイントとはインプラントの部分を指します。対応するチェックボックスを選択またはクリアすることにより、1つまたは複数のセグメントやジョイントとのハンドルを追加または削除します。

フリーフォーム・ミルド・バー



- 1 上側用の2ハンドル・モード: セグメントやジョイントの中心にあるトップハンドルを2個のハンドルに変えます。1個は舌側(緑)、もう1個は頬側(青)に位置します。これは正面のビューから確認できます。バーのトップの高さは、バーの中心からだけでなく、バーの舌側および頬側から調整できます。
- 2 下側用の2ハンドル・モード: セグメントやジョイントの中心にあるボトムハンドルを2個のハンドルに変えます。1個は舌側(緑)、もう1個は頬側(青)に位置します。バーのボトムの高さは、バーの中心からだけでなく、バーの舌側および頬側から調整できます。
- 3 この設定を選択した状態で、ハンドルを1つ移動すると、同じレベルのハンドル表示が同時に移動します。
- 4 左側のハンドルの表示
- 5 右側のハンドルの表示

ラップアラウンド・バー



- 1 上方ハンドル
- 2 下方ハンドル
- 3 舌側のハンドル
- 4 頬側のハンドル
- 5 この設定を選択した状態で、ハンドルを1つ移動すると、同じレベルのハンドル表示が同時に移動します。

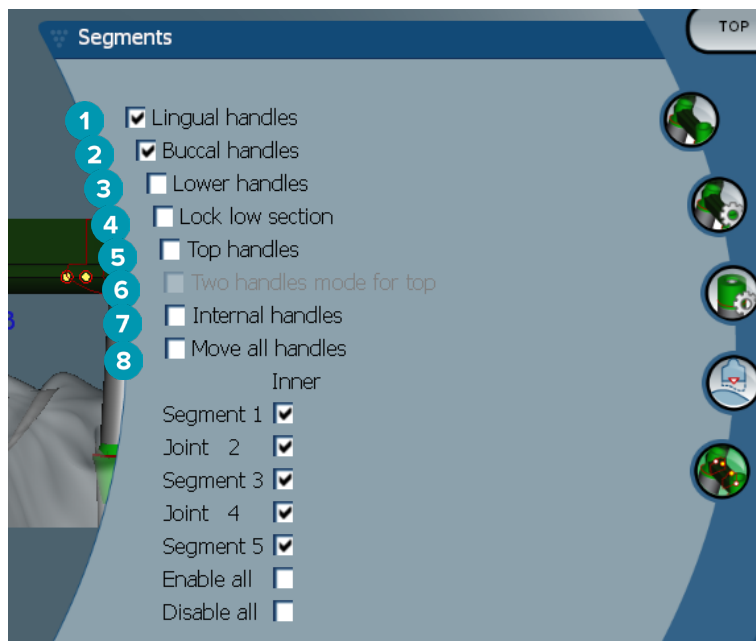
ハイブリッド・バー



- 1 上方ハンドル
- 2 下方ハンドル

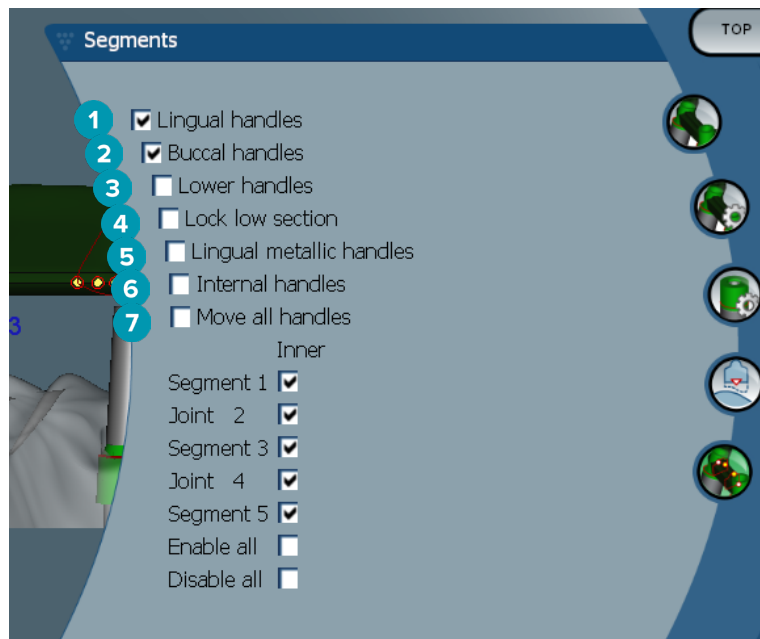
- 3 低変形モード: [Lower handles]を有効にすると、以下のオプションを使用できます。
 - **Stretch bottom shape:** 表面を延伸させて変形させますが、セクション下の形状は保持されません。
 - **Preserve bottom shape:** 表面を延伸させて変形させますが、セクションの下の形状は保持されます。
- 4 舌側のハンドル
- 5 頬側のハンドル
- 6 下側の舌側ハンドルは、ハンドル位置の断面の平面内で移動させることができます。
- 7 下側の頬側ハンドルは、ハンドル位置の断面の平面内で移動させることができます。
- 8 この設定は、下側の舌側と頬側のハンドルの幅の表示(同じ高さの)、高さ(モデルまでの距離)、またはその両方を有効にします。
- 9 このオプションを選択し、切断面に沿って断面全体をドラッグします。
- 10 この設定を選択した状態で、ハンドルを1つ移動すると、同じレベルのハンドル表示が同時に移動します。

モントリオール・バー



- 1 舌側のハンドル
- 2 頬側のハンドル
- 3 下方ハンドル
- 4 下部セクションのロック
- 5 上方ハンドル
- 6 上側用の2ハンドル・モード: セグメントやジョイントの中心にあるトップ・ハンドルを2個のハンドルに変えます。1個は舌側(緑)、もう1個は頬側(青)に位置します。これは正面のビューから確認できます。バーのトップの高さは、バーの中心からだけでなく、バーの舌側および頬側から調整できます。
- 7 内部ハンドル
- 8 この設定を選択した状態で、ハンドルを1つ移動すると、同じレベルのハンドル表示が同時に移動します。

リングカラー付きモンリオール・バー



- 1 舌側のハンドル
- 2 頬側のハンドル
- 3 下方ハンドル
- 4 下部セクションのロック
- 5 リンガル メタリック・ハンドル
- 6 内部ハンドル
- 7 この設定を選択した状態で、ハンドルを1つ移動すると、同じレベルのハンドル表示が同時に移動します。


パリス・バー



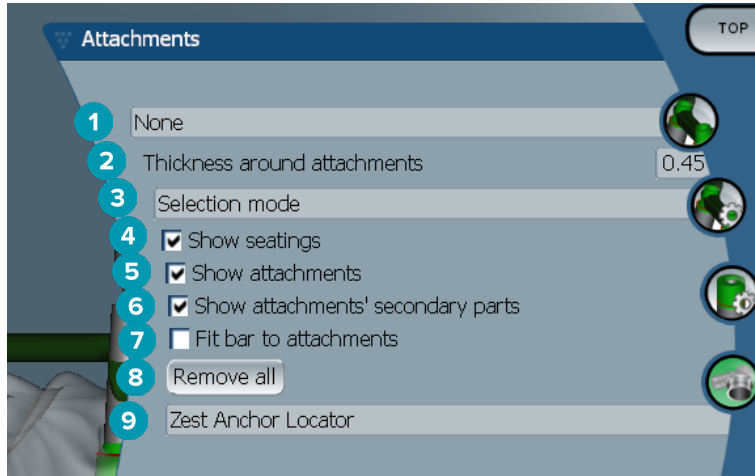
- 1 舌側のハンドル
- 2 頬側のハンドル
- 3 下方ハンドル
- 4 下部セクションのロック

- 5 上方ハンドル
- 6 上側用の2ハンドル・モード: セグメントやジョイントの中心にあるトップハンドルを2個のハンドルに変えます。1個は舌側(緑)、もう1個は頬側(青)に位置します。これは正面のビューから確認できます。バーのトップの高さは、バーの中心からだけでなく、バーの舌側および頬側から調整できます。
- 7 この設定を選択した状態で、ハンドルを1つ移動すると、同じレベルのハンドル表示が同時に移動します。

アタッチメント・ポジショニング

[**Activate attachment positioning**]  ツールのオプションは、ラウンド・バー、ドルダー・バー(全タイプ)、ヘーダー・バー、フリーフォーム・ミルド・バー、およびパリス・バーで利用できます。表示されるオプションは、デザインするバーのタイプに応じて変化します。

右側のメニュー・バーで、[**Attachment positioning**]  をクリックします。



- 1 最初のドロップダウン・リストから、末端のエクステンションに配置するアタッチメントのタイプを選択できます(現時点ではBoule-Bredentのみ)。
- 2 アタッチメント周囲の厚み: 位置決めしたすべてのアタッチメントの周囲に最低限必要な厚みを指定します。この条件が満たされない場合は、アタッチメントの周囲に自動的に厚みが追加されます(デフォルトは0.5 mm)。
- 3 選択モード、配置モード、または除去モードを選択します。
- 4 装着の表示
- 5 アタッチメントの表示
- 6 アタッチメントの補助パーツの表示
- 7 バーをアタッチメントに適合
- 8 すべて削除: バーに配置済みのアタッチメントを、エクステンションに配置されたものを除いて、すべて削除します。
- 9 配置モードで配置するアタッチメントのタイプを選択します。

既知の問題

全般

ソフトウェアがクラッシュするか反応しなくなった場合は、ソフトウェアを再起動してください。また、必要に応じて接続機器も再起動してください。

既知の問題	回避策
デザイン・モジュールを閉じた後、「デザイン変更の保留」を示すダイアログが表示される	<ol style="list-style-type: none">1. デザイン・モジュールを再度開きます。2. エキスパート・モード  に移動します。3. [補綴修復のマージと保存]  をクリックします。4. [OK] をクリックします。
	
	<ol style="list-style-type: none">5. [保存]  をクリックします。6. [保存] をクリックします。
	
	<ol style="list-style-type: none">7. デザイン・モジュールを閉じます。